

提案内容の整理

【植物・花に関すること】	検討すべき点・問題点	解決案(提案内容)
花見ができる木	・樹種選択 ・植栽場所、本数	・サクラ 品種を何種類か植えたらどうか ・目立つ場所 ・日当たりの良い場所 ・川沿いは塩害が心配
木のぼりができる木	・樹種選択	・南側の既存樹木 ・枝の折れやすい樹は避ける
花壇	・規模(大きすぎると管理が大変) ・植物の選択 ・散水方法	・周囲から見える場所 ・花壇を区切ってグループ毎に維持管理してもらう
既存の盛土を利用した花壇	・周囲の施設との兼ね合い	
ガス施設のフェンスにジャスミン	・第三者の所有物のため、直接は這わすのは×	・フェンスに沿って、生垣支柱を設置する
土づくり・コンポスト	・施設の構造、設置場所 ・放射線問題 (最近は測定値下がっている)	・市販の容器 or 手づくりの箱か検討 ・使用する場合、放射線にかかる情報を説明、公表す ・ヤマモモの実を入れると早く堆肥化できる ・腐葉土の花壇利用はOK、畑での利用は注意が必要
畑	・収穫に関するルールづくり <u>・盗まれる心配</u> ・農薬・いたずら <u>・自由に収穫させることもあり？</u>	・収穫物の販売や、特定の人だけの消費は× ・イベントなどで皆で食べるなどルールを作る ・表面に出ないイモなどよいのではないかな？ ・畑の手入れは子供の教育・体験として良い

【遊具・プレーパークに関すること】	検討すべき点・問題点	解決案(提案内容)
ビオトープ 水場	・水源の確保 ・衛生上の管理(ボウフラ対策など) ・規模、構造、場所	・雨水の活用、井戸設置を検討 ・井戸はほしい ・防水の工夫 ・水生植物を導入したい ・ボウフラは小魚に食べさせる ・大きさ1坪～小さくても可
泥遊び	・水源の確保 ・規模、構造、場所	・雨水の活用、井戸設置を検討 ・水場の近くに作る ・プレーパークでは自由にできる(場所を決めない)
木の下にアスレチック	・作り方・材料など ・規模、構造、場所	・ロープ、滑車で滑る ・ブランコ ・間伐材を使用
木の下にハンモック	・作り方・材料など ・管理をどうするか	・再利用ネット(ゴルフ場からもらったもの)で作れる ・保護者が現地にいる時のみ、取り付ける
既存の盛土を活かしてトンネルを作る	・安全性(崩落防止措置)、防犯上の問題	・土管を入れる ・たて穴は良いが、横穴は危険 ・トンネルの上部アクリル板でのぞける
既存の盛土を活かしてダンボールで滑るすべり台	・高さが低いのではないか？	・竹を並べると滑りやすい

【土木・木工に関わること】	検討すべき点・問題点	解決案(提案内容)
散策路	・作り方 ・規模、構造、場所	・自然のケモノ道的なものがよい ・裸足で歩けるとよい ・車イスが通れる場所もほしい(花壇の周りなど部分的に舗装)
円形のベンチ	・作り方 ・規模、構造、場所	・公園施設メーカーの安価販売品の導入も検討 ・間伐材の手づくりスツールも検討
既存の雑草を活かした草花迷路 (毎回・毎年通路を変える)	・規模、構造、場所 ・子どもルームへの配慮	・ススキなど丈の高い草 ・ロープ柵で囲えば、刈残しと思われしないのではないか ・ビオトープと近いエリアに ・花壇とのすみ分けを
休憩ラウンジ	・必要な施設は？ ・規模、構造、場所	・乳幼児、障害者も来られる場所 ・屋根のある建物 ・理想は飲み物を提供できて、夏場はエアコンもほしい ・まずはテーブル椅子を置いてお茶を飲める場づくりか
土管	・防犯上、安全性、ホームレス対策 ・入手方法は？	・大人が入れるサイズでなければよいのでは？ ・カラフルに色を付ける ・移動式の隠れ家、秘密基地で代用できないか ・上に穴をあけて雨が入るようにする ・短くてよい
ドッグラン(犬と遊べるスペース)	・公園内へのドッグラン設置は、多くの条件を満たす必要がある ・利用や管理方法を決める	・放飼いは禁止、専用スペースにとどめるなど ・利用者や犬種の制限は原則としてできない ・子供の遊ぶ区域に犬を入れさせないための施設 ・ルールを表示した注意看板を検討する ・飼い主の集まる場がほしい→来園者が増える。
ドッグランの入口は手づくりアーチ	・公園の入口には必要ないか ・規模、構造、場所	

【水道・下水に関すること】	検討すべき点・問題点	解決案
井戸	・掘削方法(手掘りor業者発注) ・浅井戸の場合、塩水となる可能性あり ・上水道との併設は、予算上困難	・今年度に限らず、今後の管理イベント、手づくりも検討
トイレ設置	・汚水本管への接続工事(延長40m)の費用確保 ・仮設(汲取り式)も検討	・今年度市の予算では困難 ・リースも検討 ・サイクリングコース側がよい ・市の他の事業(サイクリングコース活性化)にも働きかける。
水飲み・散水栓設置	・水道本管の延長工事の費用確保 ・公園は使用料金の減免を受けるため、制限あり ・ビオトープ池(泥遊び場)へ常時注水はできない	・市の予算で対応したい ・公園利用者の飲用水、手洗い、便所、最小限の散水